

事務事業名	公共下水道接続推進事業	事務事業No.	50501000116	所属課	下水道課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年度に県下水道課から、桜川市の下水道接続率が他市町村と比べ低い指摘があり、接続キャンペーンを実施することになった。併せて戸別訪問も実施した。接続工事補助金を拡充し周知を行った。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 軽快で住みやすい町になってきている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目		
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	多くの世帯・事業所に接続することは、市民の生活環境が改善され、公共用水域の水質改善に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	下水道法に供用開始区域は下水道へ接続しなければならない規定があり、市においても接続推進をしなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	接続推進通知の発送や戸別訪問の継続的な実施により、接続率の向上が見込める。ただし、高齢者で跡取り不在につき接続しない方などため、接続推進先の選定をするなど、効率的な推進を行う。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	接続促進を行政が率先して行わなければ、接続率の向上はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	未接続者への接続促進事業であり、目的と対象が明確であるため、他の事業との統廃合と連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	接続率を上げ、使用料を恒久的に得るためには多少の事業費で補助金の支出はやむを得ない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	この事業は、広報活動と未接続者への職員訪問が中心となるものであり、受益者負担は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 本事業は、公共下水道への接続率を向上させることを目的としており、平成30年度より制度を大きく拡充。今年度は、真壁地区を中心に接続推進訪問を実施。県と合同で開催され、市民の下水道接続意識向上に務めた。																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上	コスト			削減	維持	増加				○			維持					低下			
成果	向上	コスト																							
		削減	維持	増加																					
			○																						
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 公共下水道への接続率は向上の余地があり、接続補助金も引き続き事業継続するので、戸別訪問や広報活動(市ホームページ・広報誌)等で推進活動を実施する。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	